

編集後記

小学校の図工展に行きました。どの学年の作品も、それぞれに見るものを楽しませてくれました。

その中であって、ビー玉の迷路を工夫した三年生の「ビー玉の大ぼうけん」は、既に壊れそうな作品も何点もあり、一つのビー玉を巡っての子どもたちの試行錯誤の後が窺え、それらが「見せる」ためだけに作られていないことを語っていました。

スタートやゴールの仕方を考える、曲がり道・渦巻き道・坂道などの通路をいろいろな材料で工夫する、トンネルやその中の迷路など見えない通路を取り入れる、さらには、落とし穴やくぐり穴も加える、

などなど。二つと同じもののないその作品群に感心しました。

Nも三年生のとき、この迷路のための設計図を家で描いていました。「この辺から始めて、ここは見えなくするんだけど、迷路も作る。だから、勘でやらなくちゃあ。で、『スタートへもどる』がこの辺にあつて、……ビー玉入れ、どうしようかな。ま、いいっか。置いとけばいいや」。この独り言を聞いて、たった一つのビー玉がこんなにもイメージを膨らませることに驚かされ、思わずその言葉を書き留めていました。

さらに、今回の、試行錯誤だけでなく、出来上がるまでに思わず遊んでしまったに違いない作品群に、ビー玉が子どもたちの遊び心をくすぐる優れた材料であることを、具体的に見せられました。

(A)

幼児の教育

第九十七巻 第三号

(一九九八年三月号)

定価五五〇円(本体五二四円)

発行 平成十年三月一日

編集兼発行人 田代和美

発行所 日本幼稚園協会

〒112-8610 東京都文京区大塚二丁目一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

〒108-8620 東京都港区三田五丁目二丁目一

発売所 フレーベル館

〒113-8611 東京都文京区本駒込

六一一四一丸

☎〇三―五三九五―五六六一三(営業)

☎〇三―五三九五―五六六〇四(編集)

振替 〇〇―一九〇―二一九六四〇

☆ 本誌ご購入のご注文は発売所フレーベル館にお願いします。

☆ 万一、乱丁・落丁などがございましたら、おとりかえいたします。